

一般国道115号 相馬福島道路 相馬西道路
「横川高架橋」「今田高架橋」の架設作業開始
～相馬西道路で初の橋梁架設～

相馬福島道路の相馬西道路は復興のリーディングプロジェクト(復興支援道路)として位置づけられ平成30年度の開通に向けて工事を進めております。

この度、相馬西道路の「横川高架橋(仮称)」「今田高架橋(仮称)」の上部工製作が終了し現地での架設作業を開始しますのでお知らせします。

1. 横川高架橋

- ◆橋 長: 423.5m
今回の工事区間: 鋼3径間連続箱桁橋(L=168.0m)
鋼2径間連続I桁橋(L=73.0m)

◆架設作業

作業開始: 平成27年3月29日(日)10:30～
(現地取材をされる場合は10:30までに別紙1の集合場所にお越し下さい。)

作業終了: 6月上旬頃の予定

2. 今田高架橋

- ◆橋 長: 784.6m
今回の工事区間: 鋼3径間連続箱桁橋(L=198.6m)

◆架設作業

作業開始: 平成27年3月30日(月)
(現地取材をされる場合は下記の見学に関する問い合わせ先にお問い合わせ下さい)

作業終了: 6月上旬頃の予定

※架設開始日は悪天候の際は、延期となる場合があります。

問い合わせ先

【事業に関するお問い合わせ】

国土交通省 東北地方整備局

磐城国道事務所 0246-23-2211(代表)

副 所 長 千葉 富彦 (内線204)

工務課長 岩瀨 誠 (内線411)

【架設作業の見学に関するお問い合わせ】

磐城国道事務所 相馬出張所 0244-35-1145

出張所長 土田 優 080-2814-8105

【架設作業に関するお問い合わせ】

◆横川高架橋

(株)横河ブリッジ 0244-32-1670

所長 鳥部 敏文

◆今田高架橋

高田機工(株) 0244-32-0170

所長 塚本 和志

※発表記者会等: いわき記者会、いわき記者クラブ、いわき市ふるさと発信課、
福島建設工業新聞、南相馬市役所記者クラブ

【集合場所位置図】



【詳細位置図】



上部工工事施工区間

3~4月架設
今回架設を行う箇所

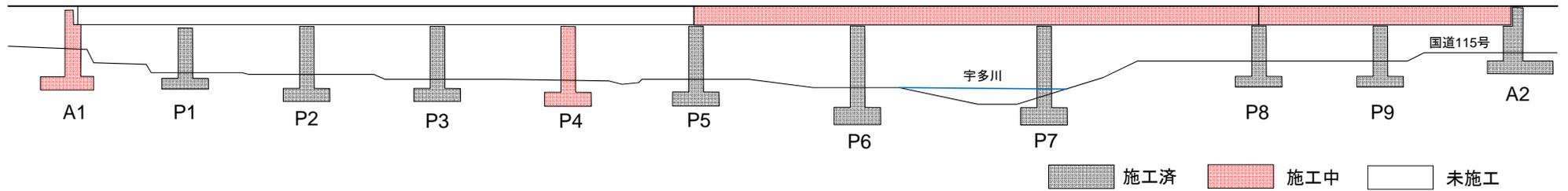
4月架設予定

6月架設予定

PC5径間連結バルブT桁橋(L=182.5m)

鋼3径間連続細幅箱桁橋(L=168.0m)

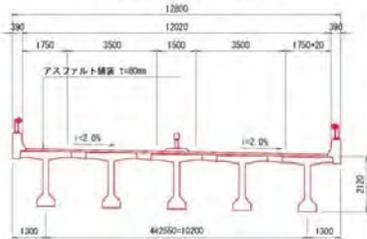
鋼2径間連続I桁橋(L=73.0m)



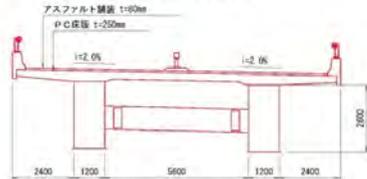
■ 施工済 ■ 施工中 □ 未施工

上部工断面図

PC5径間連続バルブT桁橋



鋼3径間連続細幅箱桁橋



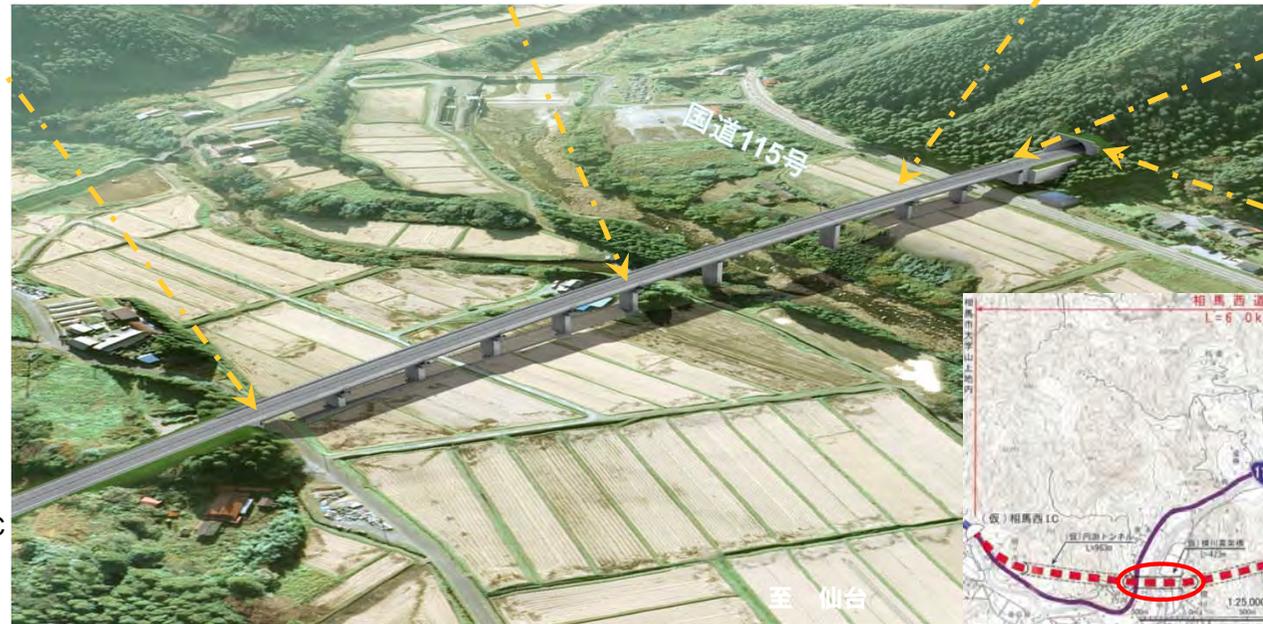
鋼2径間連続I桁橋(多主桁)



PC5径間連続バルブT桁橋(L=182.5m)

鋼3径間連続細幅箱桁橋(L=168.0m)

鋼2径間連続I桁橋(L=73.0m)



至 福島市

→ 至 相馬西IC

(仮称)円淵トンネル
L=963.0m

至 仙台

相馬IC



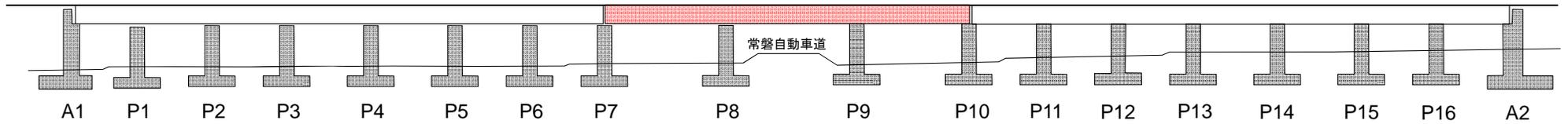
上部工工事施工区間



7径間連結PCコンポ橋(L=290.8m)

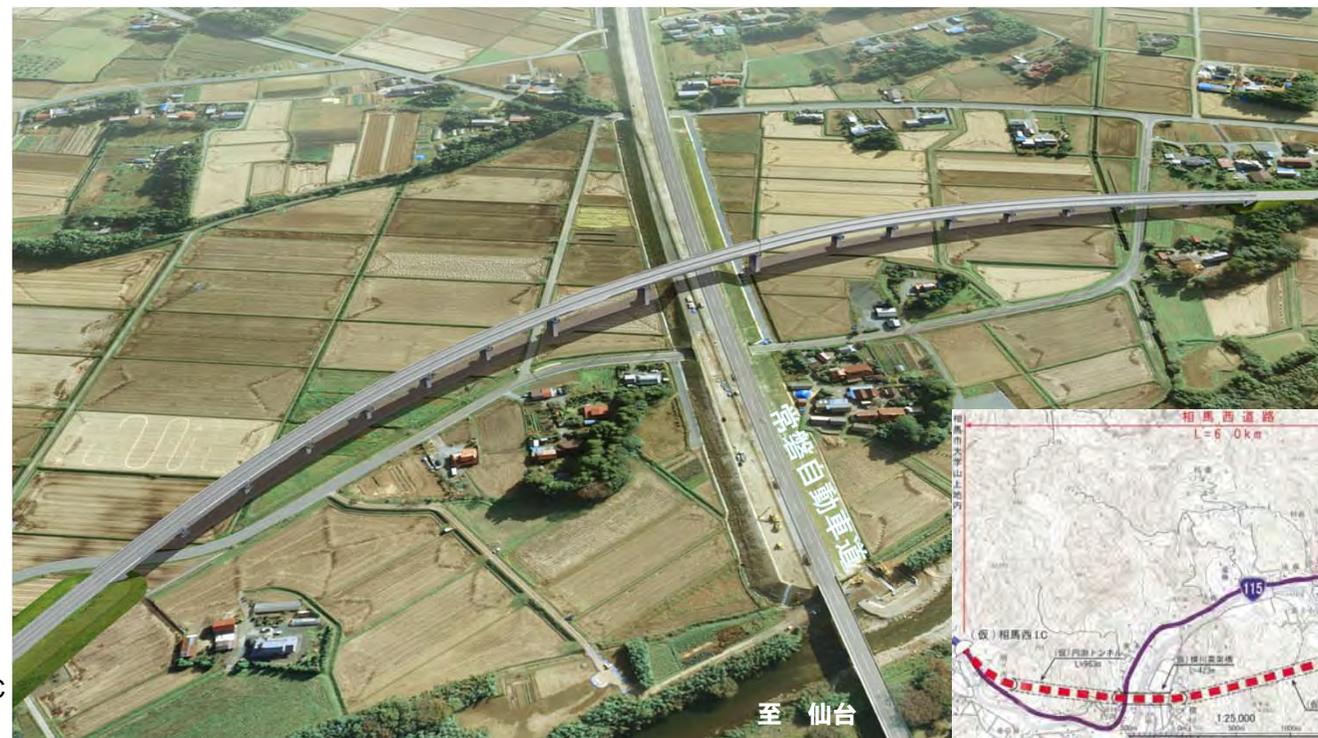
鋼3径間連続細幅箱桁橋(L=198.6m)

7径間連結PCコンポ橋(L=295.2m)



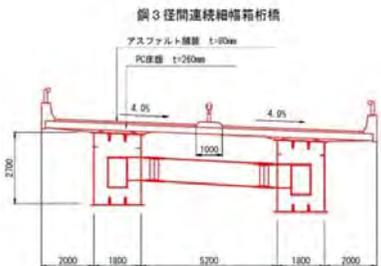
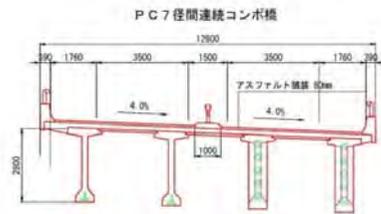
■ 施工済 ■ 施工中 □ 未施工

至 東京



→ 至 相馬西IC

上部工断面図



← 至 相馬IC

至 仙台



【復興支援道路】 一般国道115号 相馬福島道路の概要

相馬福島道路は、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路(無料)であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられています。



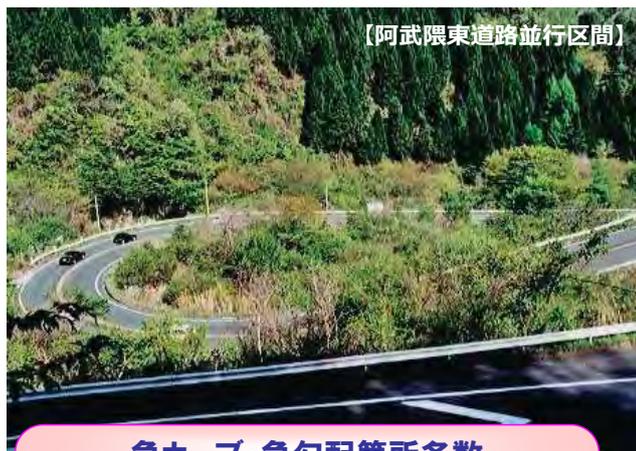
国道115号 相馬～福島間の現状の課題



大型車同士のすれ違いが困難



緊急車両の走行に支障



急カーブ・急勾配箇所多数



沿線住民の安全な生活に支障

メリット① 通勤時間が大幅に短縮 福島⇔相馬間が身近に！

はしご状の高速道路ネットワークを形成し、効率的な交通経路の選択が可能に

現道115号を利用した原材料輸送における課題

・相双地方の企業は、内陸・関東方面へ輸送する時、冬期道路状況等により仙台経由で輸送している
⇒大幅な迂回損失が発生



資料：H22道路交通センサスピーク時旅行速度時間価値原単位はH20年価格



福島飯坂 I C ⇔ 相馬市役所
76分⇒41分 (35分短縮)

メリット② 悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保

▼相馬市～福島市間の緊急輸送道路は国道115号のみ



- 緊急輸送道路（第一確保路線）
- 防災上の対策が必要な箇所（26箇所）
- 通行止リスク箇所
- 津波浸水被害エリア

国道115号は、災害等による通行止めが頻発（通行止14回/15年）

※H11～H25

▼落石等により寸断された国道 国道115号相馬市山上地区（H18年6月）

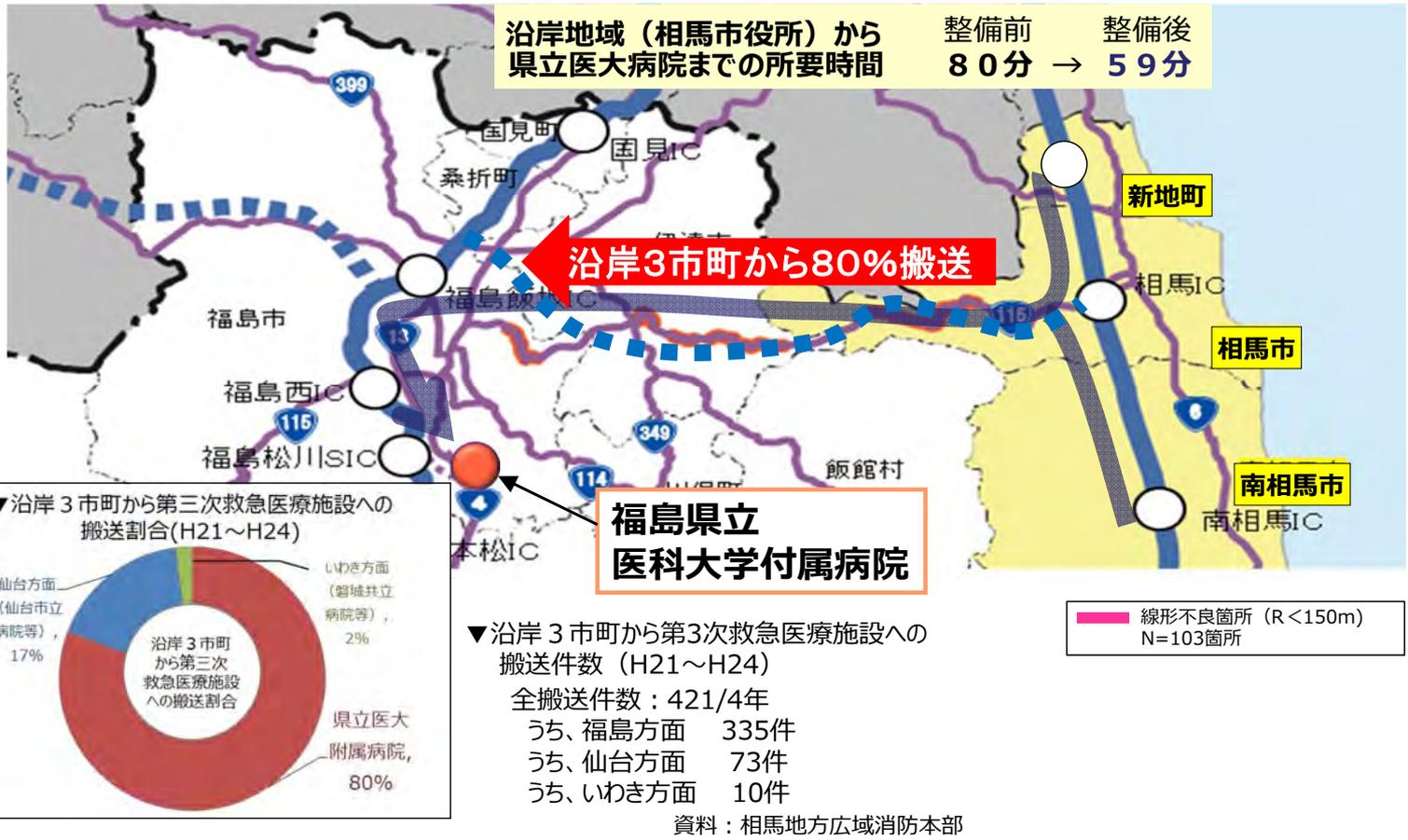


▼豪雪により寸断された国道（伊達市霊山町石田地内（H26年2月）全止め3日間）



メリット③ 救急医療の支援

急カーブや急勾配の回避により患者への負担が軽減され、安心・安全な救急医療を支援



メリット④ 地域経済を支援

相馬港を活用した輸送効率化を図り、企業活動の活性化を支援

《輸送コスト削減の事例》

鑄造用並びに製鋼用鉄源を扱う二本松市のI社は、銑鉄の輸送にあたって相馬港を活用し、輸送費の安い海上輸送をメインの輸送方法に切り替えることで、大幅なコストダウンを実現

2,000円/t
のコスト削減

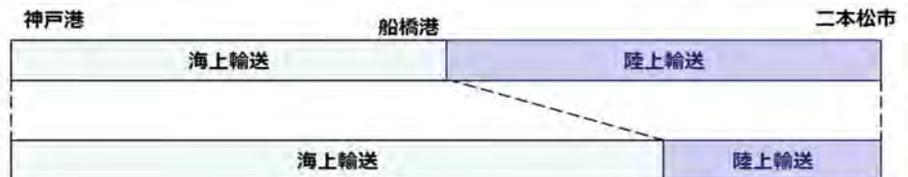


輸送方法の切り替えイメージ



before

after



相馬港